



発行／伊藤ひろし千葉県議会議員事務所

〒275-0026 習志野市谷津2-1-15 電話047(779)3385

# 習志野市と千葉県の架け橋

かつなん  
県葛南地域  
防災倉庫

## 災害想定区域から移転を

(質問項目・要望事項)

### 1【防災】

**社会福祉施設の  
業務継続計画(BCP)の運用**  
地域や施設の特性に合った装備や  
備蓄品などの支援

### 2【福祉】

**福祉相談のデジタル化**  
県内54市町村の福祉相談の現場に  
おける、デジタル化の環境整備  
**認知症の理解促進・啓発**  
映画を活用した認知症の理解促進

### 3【警察】

**自転車利用者の安全確保**  
市町村との情報共有、連携一体と  
なって自転車通行空間の確保

### 4【職員の働き方】

**休暇制度の見直し**  
社会情勢や職員ニーズに合わせた、  
教職員も含めた休暇制度の見直しの推進

### 5【県有財産】

**旧大久保職員住宅跡地(泉町)の活用**  
早期活用に向けて、土壌調査等が着実かつ  
早急に進むよう関係機関との強固な連携



▲6月定例県議会で一般質問を行う  
(私のホームページに録画中継があります)

伊藤ひろし  
本年元日に発生した能  
登半島地震のように、市  
町村が物資の提供を行う  
ことが困難になることも  
考えられます。本県では、  
市町村が大きな被害を受  
けた場合、県備蓄倉庫か  
ら物資を運び出すのこ  
とですが、明らかに災害  
想定が示されている箇所  
に配置されているものが  
あります。

●防災対策  
「県有備蓄倉庫の  
配置に関する質問」

“市民の命を守るまちづくり”を活動方針として取組んでいる私伊藤ひろしは、県議  
会で登壇し、災害への備えなどについて質問しました。県内には13カ所の備蓄倉庫を配  
備しておりますが、習志野市に最も近い葛南地域防災倉庫(船橋市高瀬町)の周辺は、  
液状化や高潮浸水被害など災害想定区域となっており、移転先の検討を開始するよう  
要望をしました。その他の質問項目・要望事項を左記にご紹介させて頂きました。

大規模災害時に習志野市を補完する  
県備蓄品の確実な供給体制の構築を

例えば、船橋市高瀬にある葛南地域備蓄倉庫には、食料品が約3万食、飲料水約1万本、仮設トイレ約70台など確保しておりますが、この倉庫は液状化や高潮のリスクが想定される地域にあります。また、長生地域備蓄倉庫も、昨年大雨により敷地が冠水してしまいました。このような中、有効的に備蓄品が活用されるのか、気になる点であります。そこで伺うが、県の備蓄倉庫の配置は、どのような考え方に基いているのか。



▲葛南地域備蓄倉庫

### 防災危機管理部長

県では、どの地域で災害が発生しても、迅速な物資支援ができるよう、また、被災等のリスクを分散する観点から、各地域振興事務所管内に11カ所と民間倉庫2カ所の合計13カ所に物資を備蓄している。災害時には、速やかに搬出作業を行うため、各地域振興事務所の敷地内もしくは、できるだけ近い場所に設置している。

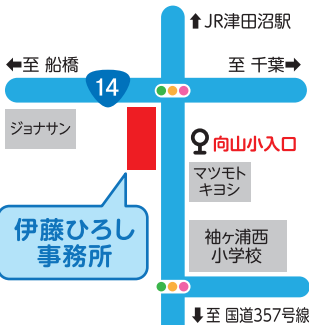
伊藤ひろし  
長生地域の備蓄倉庫では、浸水による被害を最小限にするため、倉庫内の備蓄品の配置を変えたとお聞しております。大規模災害の際には、県の全ての備蓄品を活用できるようにすることが重要と考えます。  
しかしながら、災害想定区域にある葛南地域の備蓄倉庫は、移転の検討がされていないとお聞きしております。大規模災害時に市町村を補完する立場として、備蓄品を確実に活用できるような移転先の検討を始めることを要望いたします。

### 伊藤ひろしプロフィール

〈経歴〉1975年10月生まれ(49歳)  
東海大学付属望洋高校卒(野球部)  
東海大学政治経済学部卒  
習志野市議会議員(3期)  
千葉県議会議員(2期)  
〈現職〉健康福祉常任委員会委員  
議会運営委員会委員  
〈資格〉中学・高校教員免許、防災士



LINE公式





# 習志野市内3河川の高潮対策 ～高瀬・谷津・菊田川～

高瀬川

## 水門整備に着手

谷津川、菊田川の整備も要望



高瀬川

今後、地球温暖化による気候変動への影響が加速するなか、海面上昇と相まって高潮被害が一層、現実味を帯びてきているところであります。私は、令和元年12月定例

今年8月、市政施行70周年を迎える地元習志野市には、高瀬川、谷津川、菊田川の3つの河川が流れています。これらの河川は、高潮の影響を強く受ける東京湾最奥部に位置しており、平地部に学校や救急指定病院も整備され、3河川による高潮被害の影響額は、約3000億円を超えると県は見込んでおります。

伊藤ひろし

●防災対策  
「水門・排水機場  
整備に関する質問」

議会の一般質問において、水門及び排水機場の早急な整備を要望させていただきました。その後の進捗状況が気になるところであります。

そこで伺うが、習志野市内の河川高潮対策に、どのように取り組んでいるのか。



谷津川

県土整備部長

整備内容の検討を進め、本年2月の県土整備公共事業評価審議会において、河口部に3基の水門と2カ所の排水機場を新たに整備することが了承され、今年度から高瀬川の水門整備に着手することいたしました。

伊藤ひろし

高瀬川と谷津川の上流は谷津干潟でつながっていることから、高瀬川



菊田川

に水門のみを整備しただけでは、水門の運用の仕方によって、高潮が谷津川を遡上してしまい、むしろ、谷津干潟の背後にある住宅地の被害が甚大になつてしまうのではないかと危惧しております。谷津川に水門と排水機場を早急に整備していくことが、高瀬川の水門整備ととも、谷津川も整備していく必要があるのではないか。

都市整備部長  
高瀬川だけ水門を整備しても、谷津川から高瀬川へ海水が流入するおそれがあることから、谷津川についても順次整備してまいります。

## 水門・排水機場の早期整備を 人口と産業が集中している東京湾最奥部・習志野へ

伊藤ひろし  
知事もご認識のとおり、習志野市内3河川は高潮の影響を強く受けやすい東京湾に面しております。特に、菊田川の流域面積は、他の2河川のよりも格段に大きく、周辺地域は人口密度が高く、高齢者人口も多いのが特徴で、災害時の避難誘導の円滑化が課題の地域であります。

ぜひ、菊田川についても早期に整備していただくことを要望します。

### 現地調査

#### 東京湾に隣接する習志野市

爽やかな海風は心を新鮮にして自然からの「宝物」です。海を眺める雄大さ、夕暮れの富士山の美しさに耽(ふけ)ることができ、大自然の「海」から心の豊かさを取り戻せる環境にある習志野市。

一方「海」は、暮らしに大災害を招く脅威となることもあり、津波、高潮、内水氾濫など風水害を引き起こす要因になります。私は、3河川の水量に近い水門や排水機場などの現地調査を行っています。



排水機場(船橋市海老川)



排水機場集廃機施設(市川真間川)



排水機場(市川市真間川)

### 自由民主党 移動政調会

自民党では毎年、市町村の県政要望を聴取して、県執行部に対して実現に向けた意見交換をする活動に取り組んでおります。

令和6年度 習志野市の県政要望

- 1 県補助制度における適切な財政装置
- 2 東京湾内3河川の高潮対策(水門・排水機場の整備)
- 3 いじめ・不登校児童生徒支援に係わる相談環境の整備と充実



引き続き、「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛